

第36回入善町農業委員会議事録

令和5年7月5日午後4時00分から第36回入善町農業委員会が4F全員委員会室で開催された。

委員定数 18名 委員現在数 16名 欠員 2名

出席委員 16名

1番 五十里 章	2番 中 陣 雄 一	3番 寺 田 晴 美	4番 森 下 さゆり
5番 森 下 吉 光	6番 上 田 幸 嗣	7番 島 瀬 康 一	8番 細 田 孝 志
9番 小 林 真一郎	10番 米 山 義 隆	11番 坪 野 和 夫	13番 永 山 美 和
14番 吉 原 有 二	15番 愛 場 義 豊	16番 田 中 吉 春	18番 長 原 均

欠席委員 なし

本会議に、議案の説明のため出席した者の職、氏名は次のとおり。

入善町農業委員会	事務局長	長 島 努
入善町農業委員会	係 長	清 水 弘 美
入善町農業委員会	主 事	上 原 祐里奈
入善町農業委員会	主 事	南 茂 和佳菜

議事日程及び本日の会議に付した案件は次のとおり

日程第1	会期及び議事日程の件
日程第2	議事録署名委員決定の件
日程第3	議案第130号 農地法第3条の規定による許可申請について
日程第4	議案第131号 農地法第5条の規定による意見進達について
日程第5	議案第132号 農用地利用集積等促進計画案に意見を付す件について
日程第6	議案第133号 入善農業振興地域整備計画変更案に意見を付す件について

議長（米山 義隆）

皆さんお疲れ様です。今日は第36回ということで3年間お疲れ様でした。7月入る前の梅雨の間、九州の方でも豪雨が猛威を振るい、また富山県では6月28日に白岩川の氾濫によって大変なことになって、22haほどの田がひと月余りで穂を出すというところに来て、被害に遭ってしまいました。復旧には1年から3年もかかると報道されております。同じ農業者としてたまったものではないかと、被害に遭われた方にはお見舞いを申し上げます。

先日、未来カレッジの受講生との懇親会で富山市の同年代の農業者と会い、話を聞くと大豆をまいたが大雨で三町歩ほとんどやられてしまったとのことでした。局地的な大雨から、気候が非常に変わってきているんだなということを感じております。

さて今日は最後の総会になりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

それでは議案にしたがって進めさせていただきます。順序に従いまして日程第1、会期及び議事日程の件を議題といたします。会期を本日1日限りとし、日程は第1より第6の終了までといたしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（全員 「異議なし」の発言あり）

議長（米山 義隆）

異議なしとの発言がありますので、会期を本日 1 日限りとし、日程は議事終了までと決定いたします。

―― 議事録署名委員決定の件 ――

議長（米山 義隆）

次に、日程第 2、議事録署名委員決定の件を議題といたします。6 番上田委員と 9 番小林委員に決定したいと思いますが、ご異議ございませんか。

（全員 「異議なし」の発言あり）

議長（米山 義隆）

異議なしとの発言がありますので、ご両名に決定いたします。

議長（米山 義隆）

次に、日程第 3、議案第 130 号、農地法第 3 条の規定による許可申請についてを議題といたします。それでは、事務局から説明をお願いします。

事務局

議案第 130 号、農地法第 3 条の規定による許可申請について、次の通り許可申請があったので審議を求めます。今回は、2 件の申請があります。

申請番号 1 番、農地の所在地は、入善町舟見〇〇の 1 筆で、台帳地目、現況地目はともに田、面積は 101㎡です。申請地の位置図は、議案書の 2 ページをご覧ください。

譲渡人は、入善町梶山〇〇の〇〇さん、譲受人は、入善町君島〇〇の〇〇さんです。譲渡人の要望により、譲受人へ所有権移転するため、今回の申請に至りました。申請地では、じゃがいも、かぼちゃなど野菜を栽培する計画です。

許可要件の確認ですが、農機具、通作距離等を総合的に考慮すると、譲受人は全ての農地を効率的に利用できると見込まれること、農作業に必要な日数について、農業従事していると認められること、譲受人の農地取得後も、周辺の農地利用に支障が生じないと認められること等から要件を満たしております。農業委員による意見書の確認印は、愛場委員にいただいております。

続きまして申請番号 2 番、農地の所在地は、入善町舟見〇〇ほか 1 筆の計 2 筆で、台帳地目、現況地目はともに田、合計面積は 4,327㎡です。

譲渡人は、申請番号 1 番と同じ、入善町梶山〇〇の〇〇さん、譲受人は、入善町舟見〇〇の〇〇さんです。譲渡人の要望により、譲受人へ所有権移転するため、今回の申請に至りました。申請地はもとも舟見地区の〇〇さんが耕作している農地で、譲受人の〇〇さんは、この〇〇の構成員でいらっしゃいます。譲受人が申請地を取得した後も、引き続き〇〇さんが耕作されます。

本案件については、別に補足資料をお配りしております。議案第 130 号補足資料と書かれたものをご覧ください。こちらには「農地法関係事務に係る事務処理基準について」の規定を一部抜粋してあります。この「事務処理基準」とは、農地法には書かれていない、細かな判断基準が示されているものです。この事務処理基準に基づきまして、申請番号 2 番の所有権移転については、農地所有適格法人である〇〇さんが、利用権設定に基づいて耕作している農地を、その構成員である譲受人に所有権移転するという事で、〇〇さんが引き続きすべての農地を効率的に利用できると認められることから、問題はないと考えます。

そしてそのほかの許可要件の確認ですが、農作業に必要な日数について、農業従事していると認められること、譲受人の農地取得後も、周辺の農地利用に支障が生じないと認められること等から要件を満たしております。農業委員による意見書の確認印は、愛場委員にいただいております。

以上 2 件です、よろしくお願いします。

議長（米山 義隆）

ありがとうございました。

それでは、現地の確認を行った委員から補足説明をお願いいたします。

愛場委員

申請番号1番は、宅地にくっついた農地で、元々田でしたが畑の状態になっています。譲渡人はもう舟見にはおられませんので、誰かもらってくれる人を探していたところ、縁のある人が来られて耕作してもらうことになりました。

次の案件も同じ〇〇さんの土地で、全部〇〇が作っているところであります。〇〇の営農組合もなかなか厳しいところで、人手がないと物ができないということで、何かの作業に従事する人が営農組合に入ってくれるならば、土地を耕作しましょうというしっかりした組合で、そこが管理していますので、〇〇さんが取得されても今後とも放棄地になることはないだろうと、両方とも確認させていただきました。なお事務局がおっしゃったとおりであります。以上です。

議長（米山 義隆）

それでは、質疑、応答、討論を同時に行います。ご発言をお願いいたします。

小林職務代理者

〇〇さんは法人格ですか。

愛場委員

農事組合法人です。

小林職務代理者

法人で所有するという事もなくはないと思いますが。

愛場委員

それもあると言ったのですが、個人で買ってほしいと、譲渡人はそういう意向だということでした。

議長（米山 義隆）

他に何かございませんか。では、質疑、応答、討論が尽きたものと認めます。

よって、これより本案件の採決を行いたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（全員「異議なし」の発言あり）

議長（米山 義隆）

異議なしと認めます。それでは、これより採決を行います。

議案第130号、農地法第3条の規定による許可申請について、原案どおり許可することに、ご異議ございませんか。

（全員「異議なし」の発言あり）

議長（米山 義隆）

全員異議なしの声によりまして、本案を原案どおり許可することに決定いたします。

議長（米山 義隆）

次に、日程第4、議案第131号、農地法第5条の規定による意見進達についてを議題といたします。事務局から説明をお願いいたします。

事務局

議案書の3ページをご覧ください。議案第131号「農地法第5条の規定による意見進達について」次のとおり許可申請がありましたので、審議を求めます。今回の申請は1件です。

申請者は入善町神林〇〇の〇〇さん、賃借人は入善町青木〇〇の〇〇です。申請地は入善町神林〇〇の1筆、台帳地目は田、現況地目は宅地で、面積は308㎡です。転用目的は「一般住宅敷地」で、権利の種類は「使用貸借権」です。

申請者の〇〇さんは、現在共同住宅に一人で住んでいますが、居住している共同住宅は段差や傾斜が多く存在し、自身の年齢や老後の生活を考えると危険が多い、また、周辺には知り合いもおらず、何かあったときに頼れる親族の家からも離れており、不安に感じています。

本申請地は、申請人が生まれた実家に隣接しており、実家には兄夫婦が住んでいます。実家の敷地内にある家には塀が、さらに実家に隣接した家には別の兄が生活しており、何かあったときには、助け合うことができるため、お互いに心強く安心であります。そのため、実家近くに生活拠点を移すことを希望し、実家の所有地から容易に行き来できる申請地を選定しました。

申請面積は308㎡で、一般住宅として利用するために必要な面積と認められます。建築基準法により定められた幅4m以上の道路への接続要件を満たすために、L字型になりました。

なお、申請地につきましては、申請者〇〇さんが、昭和60年頃に、農地法の許可を得ずに、通路として使用するために盛土と、一部土間コンクリート工事を施工されており、家の建築のために調査したところ、違反転用であることが判明しました。農地法を熟知せず施工を施したことを深く反省しています。今回は、その是正もかねて、始末書をつけて転用申請するものです。

排水につきましては、町道に埋設してあります下水道へ接続予定であり、雨水につきましては擁壁内に排水路及び沈澱槽を設け、隣接する排水路へ流す予定となっております。

申請地につきましては、第1種農地ではありますが、転用目的は「一般住宅敷地」であり、転用許可基準の「集落接続」に適合すると認められることから、農地の区分と転用目的には問題がないと考えます。

また、申請地は昭和58年8月13日に除外済であり、隣接耕作者の同意及び入善土地改良区の同意内容での意見書も添付されていることから、本案件は許可すべきものと考えます。農業委員の意見書は中陣委員に頂いております。

以上1件です。よろしくお願いいたします。

議長（米山 義隆）

ありがとうございました。

それでは、現地の確認を行った委員から補足説明をお願いいたします。

中陣委員

6月16日に行政書士がいらっしゃって、実際現地を確認したところ、農地ではなく道路のようなL字型になっています。ここに家が建つのかということで行政書士に確認したところ、建築業者さんの方で建てられるとの判断があるということで、確認印を押させていただきました。

議長（米山 義隆）

ありがとうございました。では、議案第131号「農地法第5条の規定による意見進達について」の質疑、応答、討論を同時に行います。ご発言をお願いいたします。

議長（米山 義隆）

何かございませんか。では、質疑、応答、討論が尽きたものと認めます。

よって、これより本案件の採決を行いたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（全員「異議なし」の発言あり）

議長（米山 義隆）

異議なしと認めます。それでは、これより採決を行います。

議案第131号「農地法第5条の規定による意見進達について」を、原案どおり県知事へ進達することに、ご異議ございませんか。

(全員「異議なし」の発言あり)

議長(米山 義隆)

全員異議なしの声によりまして、本案を原案どおり県知事に進達することに決定いたします。

議長(米山 義隆)

次に、日程第5、議案第132号、農用地利用集積等促進計画案に意見を付す件についてを議題といたします。事務局から説明をお願いいたします。

事務局

議案第132号、農用地利用集積等促進計画案に意見を付す件について。入善町から提出になった農用地利用集積等促進計画案について、農地中間管理事業の推進に関する法律第19条第3項の規定により、その意見を求めます。

農地中間管理事業において、農地中間管理機構は、農地中間管理権を有する農用地等について、権利の設定をするときは、農用地利用集積等促進計画を定め、県知事の認可を受けなければなりません。その農用地利用集積等促進計画を定める場合、機構が必要と認めるときは、町が案を作成し、農業委員会の意見を聴くものとする事となっております。今回は、別紙の補足資料にて報告させていただきます。

まず、新規設定はありません。

続いて再設定です。

入善地区はありません。

上原地区はありません。

青木地区はありません。

飯野地区はありません。

小摺戸地区はありません。

新屋地区26件、73筆、133,314㎡

棚山地区2件、7筆、18,447㎡

横山地区はありません。

舟見地区2件、6筆、12,760㎡

野中地区はありません。

再設定の合計は、30件、86筆、164,521㎡です。

なお、今回の再設定については、認定農業者であった〇〇さんが、〇〇へ法人化したことに伴い、機構と〇〇さんとの賃貸借契約を解約し、配分先変更により、〇〇へと変更するものです。以上、よろしく申し上げます。

議長(米山 義隆)

では、質疑、応答、討論を同時に行います。ご発言をお願いいたします。

議長(米山 義隆)

何かございませんか。では、質疑、応答、討論が尽きたものと認めます。

よって、これより本案件の採決を行いたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(全員「異議なし」の発言あり)

議長(米山 義隆)

異議なしと認めます。それでは、これより採決を行います。

議案第132号、農用地利用集積等促進計画案に意見を付す件についてを、原案どおり決定することに

ご異議ございませんか。

(全員「異議なし」の発言あり)

議長(米山 義隆)

異議なしと認めます。よって、本案件は原案どおり決定することといたします。

議長(米山 義隆)

次に、日程第6、議案第133号、入善農業振興地域整備計画変更案に意見を付す件についてを議題といたします。事務局から説明をお願いいたします。

事務局

入善農業振興地域整備計画変更案に意見を付す件について、入善町から提出になった入善農業振興地域整備計画変更案について、農業振興地域の整備に関する法律施行規則第3条の2の規定により、意見を求めます。

申請番号1番、除外対象地は入善町東狐〇〇の計1筆、地目は田、面積は405㎡です。除外願出者は富山市新庄銀座〇〇の〇〇さん、借受人は入善町東狐〇〇の〇〇さんで、権利設定は借受け、除外後の用途は一般住宅敷地です。

借受人の〇〇さんは、現在ひとり暮らしをしていますが、住宅の敷地が、県道小摺戸・芦崎線の拡幅工事事業にかかって買収されることから、移転する必要があり、息子の〇〇さんから申請地を借り受けて自己の住宅を建設する計画です。

申請面積は405㎡で、住宅、庭、通路として利用するための面積です。

除外要件については、万が一自分の体調に支障が生じた場合、親族に世話をしてもらいたいことから、息子である〇〇さん宅のそばで建設する必要があり、当該住宅を起点に半径100m以内で検討したところ、周辺の営農に支障を及ぼさない申請地が最も適しており、農用地区域以外の土地をもって代えることが困難と認められ、除外可能と考えます。

続きまして申請番号2番、除外対象地は入善町下山〇〇の計1筆、地目は田、面積は120㎡です。除外願出者は入善町下山〇〇の〇〇さんで、除外後の用途は一般住宅敷地の拡張です。

申請人の〇〇さんは、下山〇〇他2筆の既存住宅敷地で生活していますが、敷地として利用していた土地の一部の地目が田であることが判明し、是正するべく今回の申請に至りました。

申請面積は120㎡で、既存住宅を建てた時から、道路側の60㎡は庭地として利用、残りの60㎡は、隣接する田に屋根雪が入らないようにするため宅地化したものです。

除外要件については、隣接農地に屋根雪が入らないように、また住宅の管理に必要な敷地の一部として申請地を利用するため、既存地を起点に検討したところ、既存地に隣接する申請地が最も適していることから、農用地区域以外の土地をもって代えることが困難と認められ、除外可能と考えます。

続きまして申請番号3番、除外対象地は入善町小杉〇〇の内の計1筆、地目は田、面積は178.6㎡です。除外願出者は入善町小杉〇〇の〇〇さんで、除外後の用途は一般住宅敷地の拡張です。

申請人の〇〇さんは、小杉〇〇の既存住宅敷地で生活していますが、自己の財産関係の整理及び敷地の調査をしていたところ、敷地として利用していた土地の一部が農用地にかかっていることが判明し、是正するべく今回の申請に至りました。

申請面積は178.6㎡で、昭和54年に申請人の父が住宅を増築した時から、住宅管理のための敷地及び雨水利用の排水路として利用されています。

除外要件については、目的が住宅の増築であり、既存建物の形状及び間取りを考慮した結果、既存建物の南側の農地を利用する以外になく、既存地に隣接する申請地が最も適していることから、農用地区域以外の土地をもって代えることが困難と認められ、除外可能と考えます。

以上3件です。よろしくお願ひします。

議長(米山 義隆)

では、質疑、応答、討論を同時に行います。ご発言をお願いいたします。

小林職務代理者

1 番の〇〇さんの件で、これは農地が残る形になりますか。

事務局

住宅を建てない側の残地は引き続き耕作者の〇〇さんが耕作されます。住宅を建てることで搬入路が潰れてしまいますが、また引き続き耕作するために、新しく搬入路を設ける計画です。

議長（米山 義隆）

他に何かございませんか。では、質疑、応答、討論が尽きたものと認めます。

よって、これより本案件の採決を行いたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（全員「異議なし」の発言あり）

議長（米山 義隆）

異議なしと認めます。それでは、これより採決を行います。

議案第133号、入善農業振興地域整備計画変更案に意見を付す件を、原案どおり決定することにご異議ございませんか。

（全員「異議なし」の発言あり）

議長（米山 義隆）

異議なしと認めます。よって、本案件は原案どおり決定することといたします。

議長（米山 義隆）

以上で本日の議題は全て終了いたしました。その他、何かご意見等はございませんか。

細田委員

1 枚の田を区切って宅地にする時に犬走りの話が出たが、農業委員会独自のやり方で設置を義務づけることはできないでしょうか。

議長（米山 義隆）

犬走りの分の面積も含めて申請を出すのだと思います。管理上必要と思いますが、ただそれを農業委員会で強制ということはできないと思います。

小林職務代理者

過去にあったのは、農振除外は転用する面積分を申請してくださいということで、犬走りがほしい場合は、農振除外の時に言う必要があると思います。

細田委員

農業委員会は農地を守るためにあるのだから、きちんと知っておかなければならないと思います。元々農業をやっていない人だと、あぜを作る考えが分かりにくいのかなと。その都度もめるのも良くないので、条文化できないかと思ったんです。

議長（米山 義隆）

農地を管理する上で大事なことになるので、そこは忘れてはいけない、心に置いておかなければと思います。条文化まではまた議論させてください。

細田委員

どこかやっている市町村があるかもしれないです。

議長（米山 義隆）

その点も県に聞いてみます。

小林職務代理者

県との調整は必要と思います。ただ費用負担の話となると、そこは地権者にしっかり了解いただかないと。

細田委員

農業やっていた人なら理解して自分から犬走りを付けてくれる人がいますが、先程言ったように、農業をしたことのない人はあまりそのような思いがないのかなと。

小林職務代理者

そういう話題があった時に、耕作者の権利として、犬走りとその費用負担のことを言えるような雰囲気作りもひとつ必要かもしれません。

議長（米山 義隆）

まずは地権者と耕作者で、その話ができるかどうかですね。でないと農業委員からどうですかとはあまり言えないのではと思います。農業委員に相談があった時も、決定権はありませんがどうなっていますかぐらいは話してもらいたいと思います。

小林職務代理者

農振除外の時に議論することにしておくと、そこにやはり農業委員が出ていかないとと思います。除外時には、犬走りはある意味農地という見解があればありがたいです。農業委員の入る余地がなくなるので。

議長（米山 義隆）

こちらでも調べます。

議長（米山 義隆）

その他に何かありませんか。ないようなので、それでは事務局から何かありますか。

事務局

事務局からは2点あります。総会の開催案内に同封させていただいた政策提案について、もう1点は、農地パトロールについてお願いします。

最初に政策提案ですが、本日の添付の資料「富山県農業施策に関する政策提案」をご覧ください。こちらは、県農業会議が県の施策の改善を図るために、県内の各農業委員会から出された政策提案に関する意見を取りまとめて、10月に県知事に提出するものです。

コロナ禍による規制が緩やかになったものの、ロシアのウクライナ侵攻の影響による農業資材の高騰などが依然として継続しており、農業を取り巻く情勢に大きな改善が見られないため、今回の提案については、令和4年度に提出したものと同じで、提案内容の説明に少し変更を加えたものとなっております。

3番目の米の需給調整について、令和4年度は「コロナ禍の影響により」とあったところを「食生活の多様化等による影響から」と修正してあります。農業後継者の育成確保につきましては、担い手の高齢化や後継者不足、また定年延長による集落営農組織の世代交代の遅れなどから、組織の運営に支障を来す状況が危惧されているという文章を追加しました。

9番の水田を用いた園芸作物の作物支援について、町が推進に努めてきた転作作物には、令和3年度までは作付面積に対して補償がありました。しかし令和4年度の改定により、白ネギおよびチューリップ球根は前年度の作付面積より20アール増加した分のみ補助対象とするように変更になりました。その

ため去年は白ネギとチューリップ球根について従来通りの補助がもらえるよう要望を出しているところ
であります。その後、チューリップ球根につきましては、作付面積に対する補助が例年同様もらえるこ
とになりました。しかし白ネギについては変わらず増加した分のみ補助対象のままとなっているため、
町が推進してきた白ネギについても、令和3年度までと同様、作付面積全体に対する補助がもらえるよ
うにと要望しているものです。

米の輸出拡大に向けた担い手支援の推進について、「食生活の変化さらには新型コロナウイルスの感
染拡大に伴う外食自粛の傾向」となったところを、「食生活の多様化、世帯構成の変化等による影響」
に修正しております。

こちらの案の説明は以上になります。追加すべき点や新たな提案などございましたら、ご意見お願
いします。今の修正でよければ、このまま農業会議に送ってもよろしいでしょうか。

(全員「異議なし」の発言あり)

事務局

はい、ありがとうございます。それでは農業委員会の意見として政策提案提出させていただきます。

最後に、農地パトロールについてです。今年は8月4日の金曜日、次回の総会の終了後にマイクロバ
スで農地パトロールを行いたいと思います。皆さんが気になっている農地がありましたら、ご一報いた
だければと思います。よろしくお願いいたします。

議長（米山 義隆）

その他、何かご意見等はございませんか。では、特にご意見等がないようですので、これをもちまし
て第36回入善町農業委員会を閉会いたします。

次回は、令和5年8月4日金曜日、午後3時から行う予定ですのでよろしくお願いいたします。

(閉会 午後5時00分)